

# けんぽく農林ニュース

～「くだもの・きゅうり・花き王国の飛躍と農林業の持続的な発展」～

令和7年 9月26日発行 第107号



今年も県オリジナル品種の「ふくふくしめじ」(菌床ほんしめじ)の栽培が始まります。  
「ふくふくしめじ」で、秋の味覚をお楽しみください。

～目次～

- 「野生きのこ」は出荷が制限されています P 1
- DATECが農産物のPRや販売促進に取り組んでいます！ P 2
- 令和7年度伊達地域新規就農者研修会を開催しました P 3
- 令和7年度伊達地域農業普及推進懇談会を開催しました P 4
- 県北地方GAP推進協議会を開催しました！ P 5
- 県北地方農薬適正使用推進会議を開催しました！ P 6
- アグリビジネス・ネットワークあだち栽培技術講習会が開催されました P 7
- 第1回福島市・川俣町地方地域計画及び農地中間管理事業推進連絡調整会議を開催しました P 8
- 小麦品種「さとのそら」現地検討会を開催しました！ P 9
- 「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーン(もも)を道の駅国見あつかしの郷で開催しました🍑 P 10
- きゅうり雨よけ栽培の「ICT活用事業」現地研修会を開催しました！  
～環境測定とミスト噴霧を組み合わせた高温対策～ P 11
- 県北地方夏季の高温等対策会議を開催しました P 12
- 献上桃の選果式が行われました！ P 13
- 伊達市の「WCS用稲」の収穫が始まりました！ P 14
- ぶどう根圏制御栽培 現地検討会を開催しました！ P 15
- ふくふくしめじ生産・販売支援の取組 P 16
- 「田んぼの学校生きもの調査」を行いました！ P 17
- 県北地方有害鳥獣 被害防止対策会議を開催しました P 18
- 福島県農林水産業振興計画に係る意見交換会を開催しました P 19
- 食品表示法研修会を開催します P 20
- 安全な農作業を心がけましょう！！ P 21
- 令和8年度 福島県農業総合センター農業短期大学校 学生募集 P 22
- 第50回福島県林業祭が開催されます P 23
- 令和8年度林業アカデミーふくしま就業前長期研修生募集 P 24

「野生きのこ」は出荷が制限されています

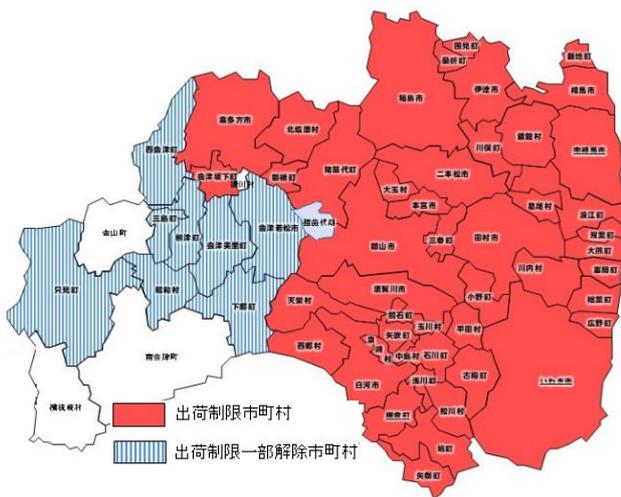
秋のきのこのシーズンとなりましたが、県北地方の市町村では、野生のきのこの出荷制限が継続しています。以下の点にご注意ください。

- (1) 店舗や料理店等への出荷はできません。
- (2) フリマアプリ、無人直売所等の個人売買もできません。
- (3) 乾燥や水煮などの加工品の原料としての使用もできません。
- (4) 他人への譲渡もお控えください。

出荷が制限されていない4町村(湯川村、金山町、南会津町、檜枝岐村)で採取した野生のきのこを販売する場合においても、県の放射性物質に関するモニタリング検査を受ける必要があります。検査を希望される場合、採取地の市町村を管轄する農林事務所にお問い合わせください。

野生のきのこのうち、まつたけ、なめこ、ならたけ、むきたけは、県の非破壊検査機器で基準値(100Bq/kgを超過しないように設定されるスクリーニングレベル)を下回ったもののみ、検査済証が貼り付けられ、出荷が可能となります。検査を希望される方は、出荷先、採取場所等を記載する「採取・出荷管理台帳」に登録する必要がありますので、当所までお問い合わせください。

【担当部署：森林林業部林業課 電話：024-521-2632】



野生きのこ出荷制限位置図



野生きのこ (ナラタケモドキ)



きのこ、山菜類の出荷制限品目・市町村について  
(県林業振興課 HP 二次元コード)

【担当部署】森林林業部

【振興方向】1 東日本大震災及び原子力災害からの復興加速化

**DATEC が農産物の PR や販売促進に取り組んでいます！**

伊達地域の青年農業者組織「DATEC」は、会員ほ場での「いちご狩り」イベントの開催や、県内外の販売会への参加といった活動を通じて、伊達地域の農産物の PR や販売促進を行っています。

令和7年6月21日(土)、伊達市霊山町で「伊達な畑カフェいちご狩り」が開催されました。当日は気温が30℃を越す真夏日となりましたが、参加者は福島県オリジナル品種の「ゆうやけベリー」をはじめ「とちおとめ」等の様々ないちごを堪能していました。また、参加者からは、「来年も来たい」「色んな味があって楽しい」などの声が多く寄せられました。終了時には会員が栽培したももで作った「ももジュース」を配布するサプライズもあり、大いに盛り上がりました。

また、伊達市役所1階シルクホールでは、6月から9月まで毎月「ダテイチ」が開催され、会員の農産物や加工品を、伊達地域の皆様に楽しんでいただくことができました。引き続き、農産物や加工品はDATECが毎月第3木曜日に保原駅前で開催している「夕方市」にてお楽しみいただけますので、興味のある方は是非お越しください。詳細はDATECのInstagram (@DATEC024) をご覧ください。

なお、9月には、東京の有楽町で開催される「ふくしままるごとフェア」に出展し、伊達地域の農産物の PR や DATEC の活動を全国に情報発信しました。

当普及所では、引き続き活気ある青年農業者組織の活動を支援していきます。



「いちご狩り」の様子



「いちご狩り」で収穫した様々な品種のいちご



「ダテイチ」での農産物の陳列の様子



「ダテイチ」で商品を販売している様子

【担当部署】伊達農業普及所

【振興方向】2 農林業の持続的な発展を支える担い手の確保・育成と生産基盤の強化

## 令和7年度伊達地域新規就農者研修会を開催しました

令和7年7月4日(金)、先輩就農者の生産現場を視察することで就農希望者が不安なく営農を開始できるよう、「新規就農者研修会」を開催しました。

研修会には、就農を目指す方や関係機関など、21名が参加し、地域農業の担い手として活躍する先輩就農者(もも、きゅうり)のほ場を訪問し、就農に至った経緯や現在の営農規模等をお話いただきました。

先輩就農者からは、「JA主催の指導会や講習会は必ず出席している」、「地域住民との信頼関係を築くことが重要」と経験に沿ったアドバイスがありました。

今回の研修参加者は、就農を検討している方、就農に向けて認定研修機関で研修中の方など様々でしたが、「農業経営を軌道に乗せるには、分からないことは指導機関などに聞いて、分からないままにしないことが重要だと感じた」という感想が出ました。また、研修会後に参加者から「就農に向けて研修を受講したい」と相談があり、就農に向けたイメージ構築の一助となる研修となりました。

当普及所では、引き続き「新規就農者研修会」等の開催を通じて、関係機関と連携し担い手の確保・育成に取り組んでいきます。



きゅうりほ場の見学の様子



ももほ場の見学の様子

【担当部署】伊達農業普及所

【振興方向】2 農林業の持続的な発展を支える担い手の確保・育成と生産基盤の強化

## 令和7年度伊達地域農業普及推進懇談会を開催しました

令和7年8月20日(水)、当普及所主催により「令和7年度伊達地域農業普及推進懇談会」を開催しました。

懇談会は、会議と普及活動現場の現地見学の2部構成とし、はじめに会議室内で、令和6年度の普及活動成果と令和7年度上半期の取組概要について、各課題主担当から説明した後、意見交換を行いました。意見交換では、「新規就農者の確保や定着に向けて、世代を超えた交流の機会が必要ではないか」、「施設園芸が盛んな当地域では、JAふくしま未来が設立した土壌分析センターを活用した営農指導が重要になる」など、現状の普及活動で直面している課題について有意義な検討を行うことができました。

続いて、伊達市箱崎のもも栽培ほ場に場所を移し、当地域の主力品目であるももの発生予察に基づく病害虫防除指導の方法を見学しました。温暖化の影響で、重要病害虫の発生時期や発生量が増えていることから、当普及所では、定期的な発生状況調査や県病害虫防除所の予察情報を活用することにより、適期防除の実施に必要な情報を発信しています。参加者からは、調査方法等について質問が出されるなど、高い関心が示されました。

年度後半は、これら貴重な意見等をしっかり反映させ、より効果的に普及活動を展開していきます。



懇談会の様子



もも予察園地の見学

【担当部署】伊達農業普及所

【振興方向】2 農林業の持続的な発展を支える担い手の確保・育成と生産基盤の強化

## 県北地方GAP推進協議会を開催しました！

令和7年6月19日(木)、県庁西庁舎講堂で、当所主催による「県北地方GAP推進協議会」を開催しました。県北地方の市町村、JAふくしま未来、市場担当者等関係機関が集まり、昨年度のGAP取組状況や今後の県北地方のGAP推進について、話し合いを行いました。

会議では活発な意見交換が行われ、今後も引き続き関係機関と連携し、認証取得の拡大や認証農産物のPR、消費者の認知度向上を図ることとしました。また、大玉村「あだたらの里直売会」における米づくりを通じたJGAPの取組について事例報告が行われました。

当所でも、県北地方のGAPの取組増加や消費者の認知度向上について、引き続き支援を行っていきます。

※GAP(ギャップ)とは、「Good(良い) Agricultural(農業) Practice(実践)」の頭文字からとったもので、食品安全・環境保全・労働安全などの観点から、安全に農業生産に取り組むための管理項目を整理し、農業生産上のリスクを把握して改善を図っていく取組です。



農業振興普及部長挨拶



あだたらの里直売会の事例発表

【担当部署】 農業振興普及部

【振興方向】 3 安全で魅力的な農林産物の安定供給と販売促進

## 県北地方農薬適正使用推進会議を開催しました！

令和7年6月19日(木)、農業者の食の安全性に対する意識を高め、農薬の飛散等による残留事故の防止などの農薬適正使用を推進することを目的として、県庁西庁舎講堂で、県北地方農薬適正使用推進会議を開催しました。会議構成員は、県北地方の市町村、JAふくしま未来、市場、共済組合、農薬卸売の関係機関団体等となっています。会議では、当所から安全・安心な農産物の生産出荷に向けた残留農薬対策マニュアル、農薬の空中散布における福島県無人航空機安全ガイドラインについて説明を行った他、JAふくしま未来からは「栽培/防除管理日誌」による出荷前確認について紹介があり、農薬適正使用推進方針や実際の取組、事故発生時の対応等について行動と役割分担について確認することができました。

当所では、今後も関係機関や団体と協力し、農薬の使用者へ農薬適正使用について周知を徹底していきます。



会議の様子

【担当部署】 農業振興普及部

【振興方向】 3 安全で魅力的な農林産物の安定供給と販売促進

## アグリビジネス・ネットワークあだち栽培技術講習会が開催されました

令和7年6月23日(月)と7月1日(火)、安達地方の直売所、加工所等で構成された「アグリビジネス・ネットワークあだち(通称「アグリネットあだち」)」の主催により、構成員である直売所団体及び直売所出荷者を対象に、栽培技術講習会が開催されました。

講習会は、多くの直売所出荷者が参加しやすいように、6月23日は岩代公民館、7月1日は岳下公民館で開催し、両日併せて31名が参加しました。

昨今の高温・異常気象の傾向や、対処方法等について当普及所職員が講演しました。今年の夏の猛暑や、それに伴う病害虫の発生に苦慮されている参加者は熱心に耳を傾け、具体的な対策方法等について質問していました。

当普及所では引き続き、アグリネットあだちの運営支援等を通して、直売所出荷者への栽培技術支援を続けていきます。



アグリビジネス・ネットワークあだち  
副会長の挨拶



講習会の様子

【担当部署】安達農業普及所

【振興方向】3 安全で魅力的な農林産物の安定供給と販売促進

## 第1回福島市・川俣町地方地域計画及び農地中間管理事業推進連絡調整会議を開催しました

令和7年6月24日(火)、当所主催による「令和7年度第1回福島市・川俣町地方地域計画及び農地中間管理事業推進連絡調整会議」を福島県自治会館で開催しました。

本会議は、地域の話し合いにより目指すべき将来の農地利用の姿を明確化する「地域計画」の策定や、地域計画の実現に向けた農地中間管理事業による農地の集積・集約化を、関係機関・団体が一体となって推進することを目的として開催しています。

当日は、会議の構成員等29名が出席しました。

農業経営基盤強化促進法の一部改正により地域計画の策定が法定化されたことにより、各地域において、将来の農業の在り方・担い手への農地集積について議論がされ、令和7年3月末までに福島市では36地域、川俣町では9地域で策定されました。

こうした中、会議では、福島市・川俣町の地域計画の内容や農地中間管理事業の進捗状況、今後の取組について、情報共有や活発な意見交換がなされました。構成員同士が情報共有を図り、一体となった取組を進めることで、策定された地域計画の実現や農地中間管理事業の更なる活用が期待されます。

当所では、今後も引き続き、関係機関・団体と連携して地域計画の実現と農地中間管理事業を推進していきます。



会議の様子

【担当部署】 農業振興普及部

【振興方向】 3 安全で魅力的な農林産物の安定供給と販売促進

## 小麦品種「さとのそら」現地検討会を開催しました！

令和7年6月24日(火)、既存小麦品種「きぬあずま」に替わる品種「さとのそら」の特性を管内の小麦生産者に周知するため、現地検討会を本宮市で開催しました。小麦品種「さとのそら」は、令和5年度に県奨励品種に採用された品種です。

現地検討会には、管内の小麦生産者や関係機関から5名の方が参加しました。生産者より「さとのそらは耐倒伏性に優れ、収量が高い品種であることから、きぬあずまから切り替えていきたい。」と、高い評価が得られました。「さとのそら」の施肥体系は、既存品種「きぬあずま」と比較し追肥重点型であるため、新規栽培希望者に対して、収量・品質を確保できるよう支援していきます。



現地検討会の様子



「さとのそら」のほ場見学

【担当部署】 安達農業普及所

【振興方向】 3 安全で魅力的な農林産物の安定供給と販売促進

## 「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーン(もも)を道の駅国見あつかしの郷で開催しました

令和7年7月13日(日)(ふくしま桃の日)、道の駅国見あつかしの郷で、令和7年度第1回目の「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーン(もも)を開催し、県産もものPRを実施しました。当日は暑い中、県内のみならず県外からも多数の来場者があり、ももクイズやGAPのPRアトラクション等を楽しんでいただきました。

今回のキャンペーンでは、ミスピーチキャンペーンクルーの高橋理子さんが参加し、ももクイズのアナウンスやももの配布等にご協力いただきました。

また、県産農産物に関するアンケートを実施し、参加者には6次化商品のももジュースを配布しました。その他にも、ももの保存方法やおいしい食べ方、ももの種類、GAPを紹介するパネルを設置し、来場者へ県北産農産物に対する理解を深めていただきました。

GAPのPRブースでは、子供向けのボールアトラクションを行い、参加者にGAPのチラシや福島県の高校生が作った青春GAP米を配布し、家族で楽しんでもらいながら、福島県内の生産者が取り組んでいるGAPのPRを実施しました。

今年度はあと2回、「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを実施する予定です。なお、次回以降のキャンペーン情報については、当所ホームページ及び公式Instagramに随時投稿していきますので、チェックしてみてください。

当所では、引き続き県産農産物の消費拡大と地産地消を目指し、取り組んでいきます。



ミスピーチキャンペーンクルー高橋さんからクイズ参加者へももの配布



各ブースで賑わう様子

【担当部署】 企画部

【振興方向】 3 安全で魅力的な農林産物の安定供給と販売促進

## きゅうり雨よけ栽培の「ICT 活用事業」現地研修会を開催しました！ ～環境測定とミスト噴霧を組み合わせた高温対策～

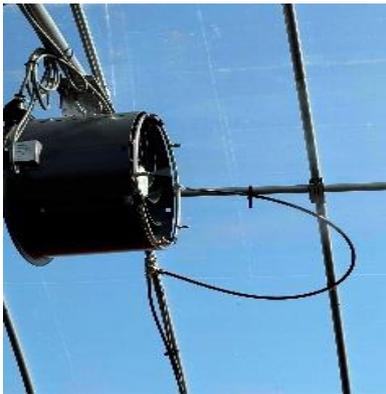
令和7年7月16日(水)、当普及所が令和6年度に伊達市梁川町に設置した「ICT 活用園芸産地革新モデル確立事業」のきゅうり実証ほにおいて、現地研修会を開催しました。JAふくしま未来伊達地区本部営農経済課及び各営農センターきゅうり担当者並びにJA伊達地区きゅうり生産部会役員、関係機関など27名が参加しました。

伊達地域は、県内一の夏秋きゅうりの産地で、特に雨よけ栽培は、長期出荷可能な作型として拡大していますが、近年は夏季の高温による影響で、芯や葉焼けの発生による草勢低下がみられます。さらに生産者にとって夏季に高温となるハウス内での作業は、身体的な負担が大きく、作業効率の低下が課題となっていました。そこで、作業の効率化と省力化を目指してICTを活用した環境測定とミスト噴霧を組み合わせたモデル実証ほを設置しました。

実証内容は、環境測定装置(アルスプラウト内気象ノード)による気温、湿度、日射量の測定を行い、ハウス上部に設置した簡易細霧冷房循環ファンを用いて、高温期の晴天時に噴霧を行い、きゅうりの生育状況や収量品質、環境データについて調査を行っています。

研修会では、これまでの生育経過について担当者から説明し、園主の佐藤隆幸氏から実証ほに取り組んでの感想や、意見について報告をいただきました。その後、実証ほの生育やハウス内の環境状況を確認しながら、参加者による意見交換が行われました。

今後も、本技術の効果について調査を継続し、産地振興に寄与できる技術体系として検証しながら、広く周知して革新技術の普及を図っていきます。



簡易細霧冷房循環ファン



アルスプラウト内気象ノード



園主による実証ほの取組み内容報告



実証ほにおける生育状況とミスト噴霧体験

【担当部署】伊達農業普及所

【振興方向】3 安全で魅力的な農林産物の安定供給と販売促進

## 県北地方夏季の高温等対策会議を開催しました

今年は6月から高温、少雨が続き、農作物への影響や熱中症の発生が心配されていました。そのため、当所では、生産者の皆様に対し、農作物の高温対策や熱中症予防を周知することを目的に、令和7年7月18日(金)、JAふくしま未来北信支店で、「県北地方夏季の高温等対策会議」を開催しました。

当日は県北地方の市町村、JAふくしま未来、福島県農業共済組合の職員が参加し、各作物の生育状況や高温時の栽培管理等について意見を交わしました。また、関係機関・団体で実施している高温対策支援事業について紹介されました。

当所では、引き続き、関係機関・団体と連携し、高温対策を含めた天候不順対策に取り組んでいきます。



会議の様子

【担当部署】 農業振興普及部

【振興方向】 3 安全で魅力的な農林産物の安定供給と販売促進

## 献上桃の選果式が行われました！

令和7年7月30日(水)、伊達郡桑折町のJAふくしま未来桑折総合支店において、皇室献上桃の選果式が行われました。

福島県は、昭和54年から皇室及び各宮家に県産ももを献上しています。平成6年から桑折町産のもも「あかつき」が献上品として選ばれており、今年で連続32回目となりました。

本年産のももは、天候に恵まれ、平均糖度の高い高品質なももに仕上がりました。

選果式では、当日の朝に収穫・集荷された果実のうち、光センサー選果機で選別された「糖度、大きさ、着色」に優れる果実600個から、関係者が果形や色、傷の有無などを入念に確認して果実180個を厳選し、丁寧に箱詰めしました。

生産者の日々の管理により生産されたももを皇室に献上できることは、桑折町のもも生産者の誇りであるとともに励みとなっています。



関係者による献上桃の選果



箱詰めされた献上桃

【担当部署】伊達農業普及所

【振興方向】3 安全で魅力的な農林産物の安定供給と販売促進

## 伊達市の「WCS 用稲」の収穫が始まりました！

令和7年8月21日(木)、昨年と同じ日にWCS（発酵粗飼料）用稲の収穫作業が伊達市保原町柱田地内の水田を皮切りにスタートしました。

伊達市のWCS用稲は「JAふくしま未来伊達地区稲WCS生産組合」（組合員数26名）が平成20年から取り組んでおり、今年で17年目になりました。

栽培面積は、全体で17.9haで、米価の高騰により作付面積は昨年より3.2ha減少しています。品種の内訳は収穫期間の分散化のためにコシヒカリが12.4ha、稲WCS専用品種のモミロマンが5.5ha栽培されています。

収穫作業は、農業生産法人みらいアグリサービス株式会社が担っており、農家の労力軽減が図られ、品質の良い飼料生産のために、ローラーは地面につけないようシートを敷いて丁寧に作業しています。

生産された稲WCSは、ローラー毎に収穫日、生産者名、地番、面積、品種がわかるように表示票が添付されており、県北地方の酪農家や和牛繁殖農家に安心して利用されています。

当普及所では、今後とも関係機関・団体と連携し、品質の良い稲WCS生産のため引き続き支援していきます。



共同での収穫作業

【担当部署】伊達農業普及所

【振興方向】3 安全で魅力的な農林産物の安定供給と販売促進

## ぶどう根圏制御栽培 現地検討会を開催しました！

令和7年8月22日(金)、伊達市内の実証ほ場において、スマート農業社会実装推進事業「ぶどう根圏制御栽培」の現地検討会を開催しました。

県北地域の果樹振興の一環として、生産者23名を含む52名の参加者が集まり、現場での栽培管理や最新技術について情報共有を行いました。

当日は、根圏制御栽培で用いる肥料の種類や高温時のかん水量の調節等について熱心な質問が飛び交い、技術的な課題や改善点についても活発な意見交換が行われました。

参加者からは、今後の栽培管理に役立つ具体的なアドバイスや事例が得られたとの声が多く、現地検討会を通して技術理解の向上と地域全体の栽培技術レベルの底上げにつながりました。



現地検討会で熱心に説明を聞く参加者



ほ場見学と参加者の意見交換

【担当部署】伊達農業普及所

【振興方向】3 安全で魅力的な農林産物の安定供給と販売促進

## ふくふくしめじ生産・販売支援の取組

県北管内では、現在、3名の方が県オリジナル品種のほんしめじ「ふくふくしめじ」を生産しています。

昔から「匂いまつたけ、味しめじ」と言われますが、このしめじはほんしめじのことを指しています。ほんしめじは、まつたけと肩を並べる美味しいきのことして、日本人に親しまれてきました。

ほんしめじは、生きた樹木と共生するため栽培は困難とされてきましたが、福島県は初めて自然栽培に成功し、県オリジナル品種「ふくふくしめじ」として産地形成に取り組んできました。当所でも定期的に生産現場を訪問し、栽培状況や課題について聞き取るほか、生産者や関係機関と意見交換会を開催し、生産等のノウハウの共有を図り、安定的な生産・販売に向けた支援をしています。

また、知名度をアップさせるため、昨年度は県北管内の販売先を図示した「ふくふくしめじマップ」を当所のホームページに掲載した他、当所公式インスタグラムに おすすめレシピ等を投稿しました。

そんなふくふくしめじですが、天然のほんしめじを味わったことのある高齢の世代に特に人気があるようです。中には「ほんしめじは、昔お祭りで食べた思い出のきのこのなので、毎年ふくふくしめじを買うのを楽しみにしている。」と仰る方もいます。

調理方法は、炊き込みご飯やお吸い物、ホイル焼きなど、香りが楽しめる調理方法がおすすめです。子ども美味しく食べられるふくふくしめじの肉巻きは、cookpadの福島県公式アカウント「はら食っち～なふくしま」で紹介されているので、ぜひご覧ください。

ふくふくしめじは11月から12月頃にかけて県内の道の駅や直売所などに並びます。秋の味覚を、是非ご賞味ください。



ふくふくしめじ栽培の様子



意見交換会の様子

### けんぽく ふくふくしめじ マップ2024



昨年当所 HP に掲載したふくふくしめじマップ  
(今年は11月頃掲載予定)

【担当部署】 森林林業部

【振興方向】 3 安全で魅力的な農林産物の安定供給と販売促進

## 「田んぼの学校 生きもの調査」を行いました！

令和7年6月25日(水)、「田んぼの学校」実践モデル校の二本松市立東和小学校の4年生児童30名を対象に、つなぐ棚田遺産に選定された「東和の布沢棚田」のビオトープにて、アクアマリンふくしまの春本先生と荒井先生を講師にお招きし、また布沢の環境を守る会の協力のもと生きもの調査が行われました。

当日は雨天との予報だったため、児童たちはビオトープの中に直接入る事は出来ませんでしたが、ビオトープの回りから採取網を使いおのおの生きものを採取していました。生きものを採取すると大きな声を上げ、楽しそうに調査を行っていました。

採取した生きものについて春本先生は持参したゲンゴロウ等の生きものを見せながら、解説を行い、児童達は、その内容をメモをとりながら聞き入っていました。

また、児童代表による生きもの調査の感想発表があり、児童たちは、地域の生きものについて知り、楽しく生きもの調査を行うことができました。

最後に春本先生より、生きものを水路や川に見に行くときは、子供達だけで行かないで家族の人、大人と一緒に行くようにとの話もありました。



生きもの調査開始



生きもの採取



どんな生きものがいたかな



春本先生の解説

【担当部署】 農村整備部

【振興方向】 4 豊かな農山村の形成と活性化

## 県北地方有害鳥獣 被害防止対策会議を開催しました

令和7年6月25日(水)、県北地方有害鳥獣被害防止対策会議を福島県自治会館で開催しました。

この会議は、有害鳥獣による農作物等の被害軽減を図ることを目的として、毎年開催されています。当所や県北地方の市町村、関係団体等における昨年度の事業実績や今年度の取組、今後の課題などを共有し、意見交換を行いました。

会議では、福島大学食農学類の望月翔太准教授に、アドバイザーとして御参加いただき、専門的な視点から、助言や意見をいただきました。特に、ワイヤーメッシュ柵など防護柵の普及が進んでいる一方で、十分に効果を得るためには設置後の柵の管理も重要との提言を受け、関係機関・団体は推進と併せて、柵の点検や補修についても留意する必要性を認識しました。

また、望月准教授から、「県北地方で今後被害拡大が懸念される野生鳥獣の現状と対策」として、ニホンジカやカラスに関する講義がありました。

当所では、引き続き、野生鳥獣の発生やその被害について、変化を捉えながら、関係機関・団体と連携して対策の普及に取り組んでいきます。



望月准教授による講義



会全体を通しての意見交換

【担当部署】 農業振興普及部

【振興方向】 4 豊かな農山村の形成と活性化

## 福島県農林水産業振興計画に係る意見交換会を開催しました

令和7年8月8日(金)、県庁本庁舎において、福島県農林水産業振興計画に係る意見交換会を開催しました。本意見交換会は、スタートして4年目となる福島県農林水産業振興計画の周知を図るとともに、現場の課題等を把握するため、管内の生産者等から意見を聴取し、翌年度の施策に反映するために開催したもので、生産者や流通関係者、小売業者、消費者等の7名に出席いただきました。

会では、県農林企画課から県全体計画の取組と、当所から地方の取組について説明するとともに、本年度中間年となる農林水産業振興計画の見直し素案や「農林産物のブランド化」をテーマとし、活発に意見交換が行われました。

参加者より、農林水産業振興計画の取組については担い手確保や果樹園地継承の取組への支援が必要である、農林水産業振興計画の中間見直しについては高温対策が課題となっており栽培や育種等の対策を計画へ反映してほしい、ブランド化については県オリジナル品種の開発やブランドのラインナップが必要であるなど、多くの貴重な御意見をいただきました。

いただいた意見を基に取組内容等を検討し、県北地方のスローガンである「くだもの・きゅうり・花き王国の飛躍と農林業の持続的な発展」の下、県北地方の農林業振興に取り組んでいきます。



挨拶する宍戸所長



意見交換会の様子

【担当部署】 企画部

【振興方向】 5 その他

## 食品表示法研修会を開催します

県北地方の食品の生産加工・流通等に取り組む方を対象に、食品表示法をより理解していただくため、本年度も食品表示法研修会を開催します。参加費は無料です。  
直売所関係者、農産物加工者、食品関連事業者等の皆様のご参加をお待ちしております。  
県北地方以外の事業者の方も受講可能です。

- ・日時 令和7年11月14日(金) 13:50~16:30 (開場 13:30)
- ・会場 キョウワグループ・テルサホール(福島テルサ) 3階会議室「あづま」
- ・内容 食品表示法について
  - ①品質事項(名称、原料原産地など)
  - ②衛生事項(アレルギー、添加物、賞味期限など)
  - ③保健事項(栄養成分表示など)
- ・参加費 無料
- ・定員 60名(先着順 定員に達し次第、申込を締め切ります)

▼研修会の参加申込はこちらから▼(ゆびナビぶらす)



参加申込用  
二次元コード



【担当部署】企画部

【振興方向】5 その他

## 安全な農作業を心がけましょう！！

福島県では、トラクターの利用が増え、農作業中の事故が発生しやすい春と秋に農作業安全運動重点推進期間が設置されています。秋は収穫作業等で農業用機械を使用する機会が増えるため、農作業事故が発生しやすい時期です。

作業前に機械の点検・整備やほ場状態の確認などの事故防止対策を行い、安全な農作業を心がけましょう。

### 農作業安全運動重点推進期間

春季：令和7年3月1日～5月31日、秋季：令和7年9月1日～10月31日

熱中症対策：令和7年5月1日～9月30日

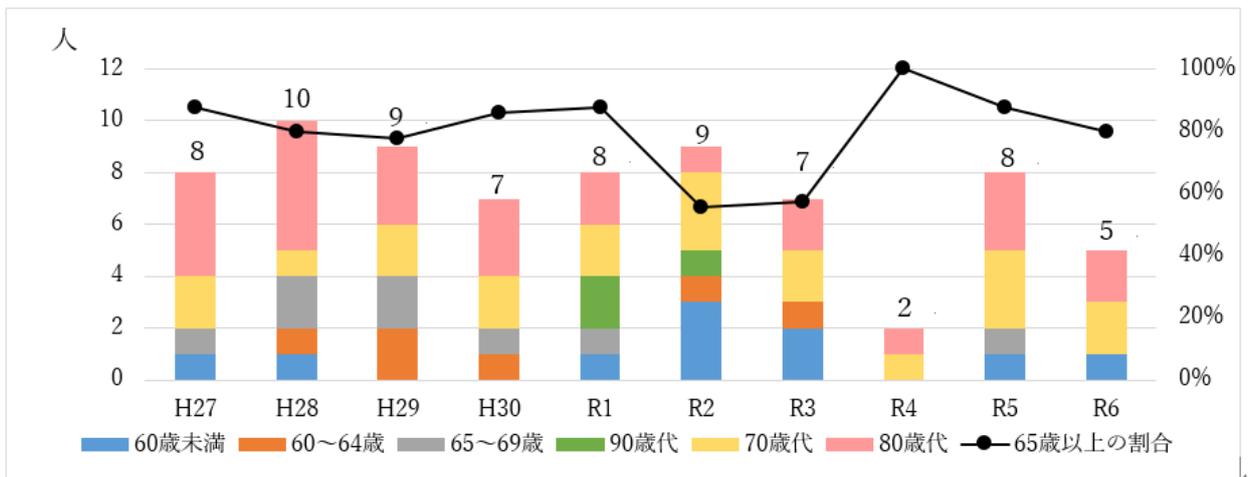


図1 農作業死亡事故年次・年代別発生状況 (H27～R6)

本県における農作業死亡事故発生状況(図1)を見ると、過去10年間の死亡事故発生数(総数)は73件、年間の平均発生件数は約8件となっています。さらに、年代別に見ると65歳以上の割合が、過去10年間ではおよそ80%を占めており、高齢化に伴い、高齢農業者による事故の割合が高い傾向にあります。

県北地域におきましても昨年度は7件の農作業事故が発生しており、うち2件は死亡事故となっています。

※調査は暦年で実施(農業担い手課調べ)

また、事故の内訳(図2)を見ると、農機具に関連した事故が全体の8割を占め、中でも乗用型トラクタによる事故が3割、次いで耕耘機による事故が2割と大きい割合を占めています。秋季においてはコンバインによる事故も発生しています。

つきましては農業者の皆様には収穫作業時などの事故防止、安全対策を徹底していただきますようよろしくお願いいたします。

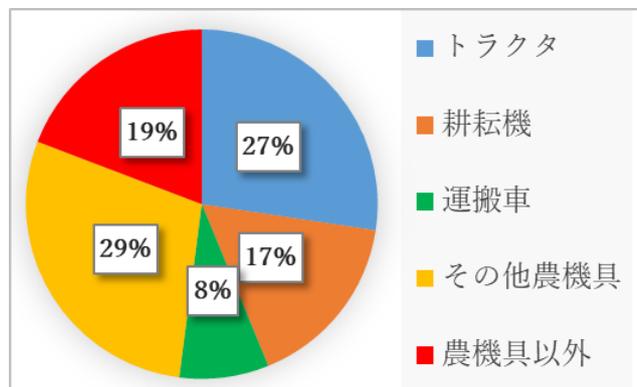


図2 農作業死亡事故機種別内訳(H27～R6)

【担当部署】 農業振興普及部

【振興方向】 5 その他

## 令和8年度 福島県農業総合センター農業短期大学校 学生募集

福島県農業総合センター農業短期大学校は、実践的な農業の技術力と優れた経営力を備えた地域のリーダーとなる農業者を育成することを目標とする、修業期間2年の県立の農業専門学校です。令和8年度学生募集が開始されますので、実践的な農業経営に関する知識や技術を身につけたい方は是非ご検討ください。

※詳細は下記学生募集要項をご確認ください。

募集人数：60名

	募集人数	備考
農業経営部	60名	水田経営学科 野菜経営学科 果樹経営学科 花き経営学科 畜産経営学科

### 募集概要

	推薦入学	前期募集	後期募集
募集人数	45名程度	10名程度	5名程度
願書受付期間	令和7年 10月1日(水) から 10月15日(水) まで	令和7年 11月20日(木) から 12月8日(月) まで	令和8年 1月15日(木) から 1月30日(金) まで
試験日	令和7年 10月31日(金)	令和7年 12月16日(火)	令和8年 2月10日(火)
合格発表	令和7年 11月10日(月)	令和7年 12月23日(火)	令和8年 2月17日(火)

### 学生募集要項

URL：<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37207a/gakuseibosyuu.html>

【担当部署】 農業振興普及部

【振興方向】 5 その他

## 第 50 回福島県林業祭が開催されます

本県の森林・林業を広くPRするため、「第50回福島県林業祭」が開催されます。

50回の節目となる今回は、「林業に沼る1日」をテーマに「林業ってかっこいい!、楽しい!」と思える展示やイベントを目指し、林業祭ならではの木製品やきのこ、プロの道具などの販売、高性能林業機械などの展示、親子で楽しめる各種体験・見学コーナーなど、盛りだくさんの内容となっています。

当所の管内をはじめ、県内外の多彩な出展者が皆様をお待ちしていますので、10月25日(土)は、郡山市の林業研究センターに是非おいでください。

- 1 開催日時 令和7年10月25日(土) 9時30分～15時30分
- 2 開催場所 福島県林業研究センター(郡山市安積町成田字西島坂1)
- 3 主催 福島県林業祭実行委員会
- 4 ホームページ URL : <https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/ringyosai/>

**第50回 福島県 林業祭**

入場無料

**10.25 SAT**  
9:30-15:30

福島県林業研究センター  
福島県郡山市安積町成田字西島坂1番地

「林業に沼る1日!!」

主なイベント  
 ○トークセッション  
 ○チェンソーアートショー  
 ○森のオーガニオン  
 ○ツリーハウスコンテスト  
 ○アドバンスサルスレース

併催行事  
 ○福島県きのこまつり  
 ○あぐしま伐木  
 ○チャンピオンシップ  
 ○森林の未来をこぎ出す  
 ※当日予約受付中

その他  
 ○木工品・農産物販売  
 飲食ブース  
 ○高級PRコーナー  
 ○森のコンサート  
 ○林業生スタンプラリー

先着1,000名様  
しいたけ菌床  
プレゼント!!

主催 福島県林業祭実行委員会 協賛 一般財団法人 福島県林業協会

お問合せ 福島県 森林計課 TEL.024-521-7426 <https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/ringyosai/>

第50回福島県林業祭チラシ



林業祭HP  
二次元コード

アクセスマップ 〒963-0112 福島県郡山市安積町成田字西島坂1  
TEL.024-945-5974(5975)



車でお越しの方は以下の駐車場をご利用ください。

- |                 |  |
|-----------------|--|
| 来場者<br>駐車場<br>1 | 郡山カルチャーパーク第5駐車場  |
| 来場者<br>駐車場<br>2 | 日本全業工業株式会社駐車場<br><small>※事前予約のため、HPまたはお電話にて申込みが必要です。</small> |

駐車場からイベント会場まで  
シャトルバスを運行します。  
【シャトルバス運行時間】  
**9:10～15:30**  
(10～20分間隔)

※イベントの模様は録音として撮影・映像撮影を行い、今後の広報活動に使用する場合がありますので、予めご了承ください。  
※イベント同時での入場はできません。

お問合せ 福島県林業祭実行委員会事務局(県庁森林計画課内) TEL.024-521-7426

同左アクセスマップ

【担当部署】 森林林業部

【振興方向】 5 その他

## 令和8年度林業アカデミーふくしま就業前長期研修生募集

林業アカデミーふくしまでは、令和8年度就業前長期研修生を募集しています。森林・林業に関心のある方、県内の林業事業体で働きたい方の応募をお待ちしております。

なお、普段の研修が見学できる「公開デー」が毎月開催されていますので、興味のある方や入講を希望する方は是非参加してみてください。ほかにも10月25日(土)に「第50回福島県林業祭」で、アカデミーPRコーナーが設けられ相談会が開催される予定です。

また、「ふくしま林業就業ポータルサイトそまナビ」や(公社)福島県森林・林業・緑化協会広報誌「林業福島」に修了生の紹介や研修の様子が掲載されていますのでご参照ください。

### 1 一般選考 (15名程度募集)

申請期間：「前期」9月1日(月)～9月26日(金)

「後期」10月27日(月)～11月21日(金)

試験日：「前期」10月8日(水)、「後期」12月3日(水)

問合せ先：福島県林業研究センター企画研修部(郡山市安積町)

電話：024-945-5974・5975

メール：[forestry.rc@pref.fukushima.lg.jp](mailto:forestry.rc@pref.fukushima.lg.jp)

※「前期」で定員に達した場合、後期募集は行われません。

詳しくは林業アカデミーふくしまのホームページでご確認ください。

林業アカデミーふくしまホームページ

URL：<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/forestry-academy-fukushima/>

ふくしま林業就業ポータルサイトそまナビ ホームページ

URL：<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/forestry-employment-fukushima/>

公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会ホームページ

URL：<https://www.fukurin-net.jp/>



林業アカデミーふくしま研修生募集



林業アカデミーふくしま公開デー



林業アカデミー  
ふくしまHP二次元コード



同上 Instagram  
二次元コード

【担当部署】森林林業部

【振興方向】5 その他

～随時、情報を発信しています～

当所では、農林水産部公式 Youtube チャンネル、ホームページ、SNS（Instagram）で、  
県北地方の食と農、農林業と農山村に関する情報を随時発信していますので、どうぞ御覧ください。

農林水産部公式  
Youtube チャンネ

当所ホームページ

当所Instagram



編集・発行 福島県県北農林事務所 企画部 地域農林企画課  
電話 024-521-2596 FAX 024-521-2850  
ホームページ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36210a/>

